

水難学会 学術講演会 特別講演

1-1

水上遊具の魅力、集客力そして安全対策

加藤 政昭

一般社団法人 日本水上エア遊具協会 代表理事
株式会社 BRAVO 代表取締役

近年、水上遊具は全国各地の海水浴場、プール、観光施設、リゾートホテルなどで導入が進み、観光・レジャー産業における新たな集客コンテンツとして注目されています。

特に、夏季シーズンにおいては、ファミリー層や若年層を中心に高い人気を集めており、地域活性化や観光集客に大きく貢献しています。

一方で、水上という特殊環境下で運営されるため、落水、転倒、溺水、気象変化など、さまざまな危険性を伴い、安全管理の重要性が年々高まっています。

1. 水上遊具市場の拡大と集客力

- ・全国各地で拡大するウォーターパーク ・観光施設における集客コンテンツとしての活用
- ・ファミリー層、若年層を中心とした利用拡大 ・地域活性化と観光需要への効果

2. 水上遊具における事故リスク

- ・落水、転倒、溺水事故 ・遊具下への潜り込み事故
- ・強風、高波、雷など自然環境リスク ・熱中症、海洋生物などの危険性

3. 事故を防ぐための安全管理

- ・ライフジャケット着用管理 ・利用条件の確認
- ・監視員配置と監視体制 ・救助体制と緊急時対 ・運営前点検と気象判断

4. 遊具構造と安全対策

- ・潜り込み防止対策 ・上り専用遊具の設置
- ・注意喚起表示 ・安全性向上に向けた構造改善

5. ICT を活用した安全管理

- ・溺水監視システム ・空気圧モニタリングシステム
- ・風速管理システム ・クラウドを活用した安全管理

6. 安全で安心な水上アクティビティ運営を目指して

- ・経済産業省ガイドラインへの対応 ・運営スタッフ教育の重要性
- ・事故防止に向けた今後の課題 ・安全基準整備と業界連携